

災害ボラ通信

発行
佐賀県民災害ボランティアセンター
佐賀市鬼丸町7-18
☎0952-23-2145
Email:saigai-vc@saga-ken-shakyo.or.jp

平成29年7月九州北部豪雨災害

被災地での活動について



東峰村災害ボランティアセンターの受付に並ぶボランティアの様子

平成29年7月5日から6日にかけて九州北部地域を襲った記

録的豪雨により、特に被害の大きかった、福岡県朝倉市、東峰村、添田町、大分県日田市では地元社会福祉協議会による災害ボランティアセンターが立ち上げられました。現地では、酷暑が続く中、家屋に入り込んだ土砂を掻き出す作業や、壊れた家財道具を集積場へ運び出す作業等に、全国から駆け付けた多くのボランティアが参加されています。

このような中、佐賀県民災害ボランティアセンターでは、佐賀県社会福祉協議会や県内の市町社会福祉協議会と協働して、福岡県の現地災害ボランティアセンターの運営支援のため、職員を派遣しています。現地での活動としては、受付をすませたボランティアに、地域住民から寄せられた依頼内容を説明して、活動につなげたり、活動に使用する資材や車両の管理等を行



オリエンテーションを受けるボランティアの様子

う業務に携わっています。

東峰村では、大雨による洪水被害以外にも、大量の土砂が流入したことに加え、流木や大きな岩等が流れ込み、家屋等が破壊されているところもありました。

このような流木や大きな岩等の撤去作業や、連日続く猛暑日により、現地でのボランティア活動はより一層困難なものとなっていました。

こうした状況にもかかわらず、東峰村災害ボランティアセンターでは、9月1日のセンターでの活動終了ま

での間に、延べ7,975名のボランティアの方々が活動に参加していただきました。(9月2日現在 福岡県社会福祉協議会調べ)



活動中のボランティアの様子

また、東峰村災害ボランティアセンターでは、村民の方々が運営スタッフとして、ボランティアの送迎、地域の情報提供等の役割を担がれていました。こうした地域住民の協力は、被災された方々にとっても、慣れ親しんだ地域住民の顔が見えることで、安心感をもたらし、より円滑にボランティア活動を進めることができ、まさに地域力と受援力の高さを感じるものでした。

なお、最も被害の大きかつ

＜防災豆知識＞

●線状降水帯について

線状降水帯とは、次々と発生する発達した雨雲(積乱雲)が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水を伴う雨域のことです。線状降水帯の多くは、4月～9月に発生し、大きな災害となる集中豪雨の要因となっています。(気象庁HPより抜粋)

平成29年7月九州北部豪雨災害では、この線状降水帯による集中豪雨により、家屋浸水や土砂災害等の大きな被害が起きました。

集中豪雨等の災害は、突発的に激しく発生するため、予測することが難しく、重大な被害を引き起こす可能性が高いです。

こうした予測が困難な災害に対し、少しでも被害を軽減し身を守るためには、事前の情報や心構えが必要です。ハザードマップで避難所や避難経路の確認を行ったり、普段の暮らしの中で「もしも災害が起きたら」とほんの少しでも意識することで、いざという時の適切な判断に繋がるのではないのでしょうか。

た朝倉市では、発災から、2ヶ月が経過した今でも、毎日多くのボランティアによる活動が続けられています。

また、仮設住宅が建設され、一部入居が始まる等、着実な復興への取り組みも進められています。

しかしながら、被害は甚

大であり、未だ通行止め等により地域住民の生活に支障をきたしているのが現状です。そのため、現在も地域住民からのニーズは増えており、これからも多くのボランティアの力が必要とされています。朝倉市災害ボランティアセンターでは、「息の長い継続的な支援を

お願いします」と呼びかけられています。

平成28年度 主な活動報告

●熊本地震に対する支援

佐賀県民災害ボランティアセンターでは、佐賀県社会福祉協議会、並びに県内市町社会福祉協議会と協働し、被災地に設置された災害ボランティアセンター等の運営支援のため、運営スタッフの派遣を行いました。

【派遣期間】
平成28年4月21日～8月22日
(計116日間) 延べ65名

【派遣場所】

熊本県災害ボランティアセンター、熊本市災害ボランティアセンター、益城町災害ボランティアセンター

●災害ボランティア研修会の開催

平成28年4月28日、災害ボランティア活動を希望される方を対象に、佐賀市において研修会を開催しました。研修会では、被災

地の現状や、被災地でのボランティア活動を行うにあたっての注意事項や心構え等について、約150名の方々が熱心に学ばれました。

平成28年度 会員加入状況

平成28年度は個人会員に815口、賛助会員に34口のご加入をいただきました。

今後、会員の皆様の声にこたえながら、貴重な財源を最大限に活用できる運営に努めてまいりますので、引き続きご協力よろしくお願いたします。

会員募集

佐賀県民災害ボランティアセンターでは、平成17年の発足以来、民間のセンターとしての県内の災害ボランティアセンター活動はもとより、他県からの派遣要請等にも応えながら、適切な被災地支援に取り組んでいます。

これらの活動は、災害ボランティア活動にご賛同いただいている会員の皆様の会費によって成り立っています。

来年度も引き続き、ご加入いただきますようお願いいたします。

●個人会員
1,000円

●賛助会員
10,000円
(団体・企業等)

入会ご希望の場合は事務局まで、ご連絡ください。

◎「佐賀県民災害ボランティアセンター」のホームページでもご確認いただけます。

☎0952-23-2145

